

消臭除菌水「ハピクル」のご提案

有限会社アコールテック

「ハピクル」とは

- ・ 次亜塩素酸ソーダ(NaClO)が水(H_2O)と反応してできる、次亜塩素酸分子(HClO)を大量に含んだ水です。
- ・ ハピクルは、次亜塩素酸ソーダをpH調整剤で調整することで、次亜塩素酸ソーダに含有されている殺菌成分である次亜塩素酸分子(HClO)を大量に生成します。
- ・ 一般に使用されている次亜塩素酸ソーダは200ppmに薄めるとpHは8.2～8.8のアルカリ性になり、有効殺菌成分の次亜塩素酸分子(HClO)の存在比は10%以下になります。「ハピクル」は、このpHを7.2以下にし、次亜塩素酸分子の存在比率を70%～100%へと飛躍的に高め、殺菌力を高めました。
- ・ 細菌や有機物に反応すると分解してしまい、そのまま下水道に排水でき環境に安全です。
- ・ 次亜塩素酸分子は次亜塩素酸ソーダの約6倍の殺菌力があるとされています。
- ・ 食品添加物を原料としている為、安心して使用できます。

「ハピクル」の特徴

強力な殺菌力

次亜塩素酸ソーダの約6倍の殺菌力を発揮。
ウイルスの活性を抑えることができます。

無公害

細菌や有機物に接触すると水に戻ります。そのまま下水道に排水可能。

安全

原料として厚生労働省が食品添加物として認めている次亜塩素酸分子と塩酸等を原料として使用しているため、安心して使用できます。
無味無臭で安心

手にやさしい

弱酸性であり、手荒れがなく、安心して使用できます。

瞬間に消臭

有機物による悪臭(糞尿の臭いや体臭)を瞬時に消臭します。

空間除菌

噴霧時の塩酸ガス濃度は、0.01ppm以下で空気中の除菌効果が可能。

「ハピクル」の除菌効果試験

「ハピクル」5 ppm濃度にて試験

菌名	試験前	30秒後	1分後	5分後
大腸菌	7.8×10^5	< 10	< 10	< 10
腸炎ビブリオ菌	6.4×10^5	< 10	< 10	< 10
サルモネラ菌	2.4×10^4	< 10	< 10	< 10
黄色ポドウ球菌	5.6×10^4	< 10	< 10	< 10
緑膿菌	3.0×10^4	< 10	< 10	< 10
セレウス菌	4.8×10^4	4.3×10^3	2.1×10^2	< 10
レジオネラ菌	7.1×10^3	< 10	< 10	< 10
真菌 (A.niger)	8.7×10^5	< 10	< 10	< 10

試験機関: (株)日本微生物研究所、(株)大研データ

大手食品メーカー試験結果

【検体】 焼肉 200g

【方法】 原料肉の噴霧殺菌を行い、製品保存を比較する。

【結果】 一般生菌数(/ g) / 官能試験

試験水	日数	初発	11日目	20日目	30日目	40日目
		2 / 24日	3 / 6日	3 / 15日	3 / 25日	4 / 4日
対象(通常品)		4.1×10^4	7.2×10^2 異常なし	3.0×10^2 異常なし	1.1×10^4 異常なし	2.6×10^4 異常なし
次亜塩素酸 200ppm		4.8×10^4	5.5×10^4 黒変	1.9×10^3 黒変・塩素臭	6.2×10^3 黒変・塩素臭	208×10^5 黒変
アルコール 70%		4.0×10^1	2.7×10^2 アルコール臭	1.1×10^2 アルコール臭	1.0×10^1 アルコール臭	8.0×10^5 アルコール臭
ハピクル 100ppm		2.7×10^2	2.0×10^2 異常なし	3.0×10^2 異常なし	8.0×10^1 異常なし	$20. \times 10^1$ 異常なし

参考データ：タレに直接ハピクル 20ppm w 0.30% 添加した製品を 40 日目に検証した。

結果 一般生菌： 2.1×10^7 ・官能試験：異常なし(味は薄いですが塩素臭を感じない)

空間噴霧試験 結果

一般生菌

試験場所	1	2	3	4
噴霧前	1.0×10^2	1.2×10^2	8.5×10^1	9.8×10^1
噴霧後	3.4×10^1	6.3×10^1	6.8×10^1	1.0×10^2

真菌

試験場所	1	2	3	4
噴霧前	1.0×10^2	1.9×10^2	8.3×10^1	8.9×10^1
噴霧後	2.8×10^1	6.6×10^1	8.6×10^1	7.3×10^1

評価

試験場所 1・2 に関しては一般、真菌ともに噴霧前後で減少が見られる。しかし、試験場所 3・4 に関しては大きな効果はなかった。試験場所 3・4 には 1・2 に比べ噴霧の際の風向きがと分ったことが原因で「ハイピクル殺菌水」が充分に行渡らなかったと推測する。試験場所 1・2 に関しては期待する効果があったため、試験場所 1・2 方向から 3・4 方向に向かって多く噴霧することで全体に満遍なく噴霧できると推察する。従って今回試験した冷却室を定期的に噴霧することで冷却ゾーン全体の生菌数を減少させることが可能と思われる。

使用例

医療機関・介護福祉施設

手指の洗浄による除菌・各種器具の洗浄除菌・病室、便所、廊下、手術室の床洗浄除菌
ウィルス、細菌等の除菌・施設内での着用衣(白衣・作業服等)の除菌消臭

食品加工・学校給食製造

食肉への直接噴霧による除菌・ベルトコンベア、側溝・容器、食器・作業台、配膳台・ふき
ん・まな板・野菜、果実の表面・各種器具類などの除菌消臭

スーパー・レストラン・ホテル・旅館

バックヤード・各厨房施設内での各種器具類・手指・床・側溝・食材表面などの除菌

酪農・畜産

乳牛の乳房及び乳頭の除菌・牛舎の除菌・牛、豚の体全体の除菌・卵の殻の除菌
施設内での作業者の衣服や靴底などの除菌

農業・園芸

うどんこ病・べと病など細菌で発生する病気の除菌・生産物の除菌

理容院・美容院・浴場

プール水・お湯・休息室・室内、部屋・理美容器具などの各種除菌

ペット

噴霧による消臭、除菌・ペットの感染予防

商品企画



容量：300m × 30 本 / ケース
ガスプレー付
濃度：50ppm



容量：20 L (BIB) コック付 / ケース
濃度：50ppm